

2016年4月14日

報道関係各位

 一般社団法人日本能率協会
 産業振興センター

前回より展示面積大幅増！「第2回国際ドローン展」 初開催！「第1回駅と空港の設備機器展」 4月20～22日、幕張メッセで開催

電子・機械部品の展示会「TECHNO-FRONTIER 2016」と同時開催

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：山口範雄）は、2016年4月20日（水）～22日（金）の3日間、千葉市・幕張メッセで、「第2回国際ドローン展」ならびに今回初開催となる「第1回駅と空港の設備機器展」開催します。（同時開催：電子・機械部品の展示会「TECHNO-FRONTIER 2016（テクノフロンティア）」）

<トピックス>

1. 産業用途での実用化が進むドローン、今年は「構造物の点検」「空撮・測量」「災害対策及び通信インフラの維持」が注目！
2. 駅と空港の設備に着目した新展示会「駅と空港の設備機器展」。
「ホームドア」「自動改札」「爆発物検知」など、最先端のエレクトロニクス技術を活かした駅・空港回りの設備を紹介！
3. TECHNO-FRONTIERでは「次世代モビリティ」を集中展示。



出展企業・製品は公式ホームページの「出展者・製品検索サイト」で公開しています。
<http://www.jma.or.jp/TF>

■全体概要■

開催期間	2016年4月20日（水）～22日（金） 10:00～17:00		
開催展示会	第1回駅と空港の設備機器展（初開催）（集中展示 バス車両と運行システム展<初>） 第2回国際ドローン展 TECHNO-FRONTIER 2016（集中展示次世代モビリティ展<初>）第2回IoT Tech		
会場	幕張メッセ（幕張・千葉） 展示ホール4～8		
主催	一般社団法人日本能率協会	協賛	関連81団体
展示規模	約504社／1,015ブース ※同時開催展示会合計（2015年実績：474社／948ブース）		
予定来場登録者数	32,000人 ※全展示会合計（2015年実績：32,698人）		
来場方法	¥3,000（税込）※公式サイト（ http://www.jma.or.jp/tf ）からの事前登録証または招待状持参者および学生は無料		

1. 産業用途での実用化が進むドローン、今年は「構造物の点検」「空撮・測量」「災害対策及び通信インフラの維持」が注目！

■「国際ドローン展」とは……テーマはドローンの“産業利用”

物流・輸送、警備・監視、巡視・点検、災害対応、計測・観測、農林水産など多岐にわたる産業分野におけるドローン（無人航空機）の利用に焦点を当て、ドローン本体、構成技術、産業応用事例までを一堂に紹介するショー&カンファレンスです。

■2回目を迎えた今年は、展示面積大幅増

74社/127ブース（前回：50社/67ブース）と、日本国内初開催となった前回は上回る規模で開催。
※出展企業一覧は公式サイト「<http://www.jma.or.jp/tf/drone/>」の出展者・製品検索ナビで公開中

■注目は、「構造物点検」「空撮・測量」「災害対策及び通信インフラの維持」への利活用

NEC、朝日航洋、東日本電信電話などの新規出展企業によるドローンを利用したインフラ点検やデータ取得、災害支援などのサービスが紹介されます。また、革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）タフ・ロボティクス・チャレンジの研究開発中の機体や要素技術の展示もあります。

前回と比較すると、産業利用のためのドローンを活用したサービス「構造物の点検」「災害対策及び通信インフラの維持」「画像やレーザーデータの処理・解析」などの関連製品・サービスが増えています。

<注目の出展製品>

構造物点検/空撮・測量/画像解析

- ・朝日航洋（ドローン&ヘリコプターを使った高精度のデータ取得・解析・提供サービス）
- ・アトックス（ドローン運用事例紹介、放射線量測定機能搭載ドローン展示）
- ・革新的研究開発推進プログラム/ImPACT（タフに仕事ができる遠隔自律ロボ、研究開発中の機器）
- ・アジア航測（「UAV 計測を支える 3D 技術」をテーマに、3次元データの取得、作成、活用）
- ・NEC（高所打音点検用飛行ロボットなどの機体カスタマイズから様々なドローン活用）
- ・Aeryon Labos ネクシス光洋（エリオン社製スカイレンジャーを使った空撮・点検）
- ・島内エンジニア（バードアイ・クリエイトによる測量・調査/解析・点検の実例）

災害対策及びインフラの維持

- ・東日本電信電話（災害対策及び通信インフラの維持に向けたドローンの活用）
- ・昭和測量（噴火口の空撮など、航空レーザー測量システム）
- ・ツカサ電子（ドローン用モータ、完全防水デモ機など）

■大好評企画「ドローン飛行デモンストレーション」

スラム（Simultaneous Localization And Mapping）搭載機体によるインフラ点検デモ、ジオラマを持ち込み会場での空撮測量による3次元マッピングなどを行う予定。また、燃料電池搭載機体によるフライトデモなども実施します。

<飛行デモンストレーション スケジュール 予定>

時間	4月20日（水）	4月21日（木）	4月22日（金）
10:30~11:00	スラム機体による インフラ点検デモ	スラム機体による インフラ点検デモ	スラム機体による インフラ点検デモ
12:45~13:15	新フライヤー トレーニングシステム	新フライヤー トレーニングシステム	新フライヤー トレーニングシステム
14:15~14:45	燃料電池搭載機体による フライトデモ	燃料電池搭載機体による フライトデモ	燃料電池搭載機体による フライトデモ
15:00~15:30	サトーホールディングス	サトーホールディングス	サトーホールディングス
15:45~16:15	室内自律飛行による 3次元マッピング	室内自律飛行による 3次元マッピング	室内自律飛行による 3次元マッピング

※デモの写真撮影は、原則としてネットの外からでお願いいたします。

※テレビカメラでの撮影を希望される方は、事前に事務局までご連絡ください。

■特別講演会ではドローン特区で話題の熊谷千葉市長が講演

千葉市のドローン特区政策、また先般特区内での行われたドローンを利用した搬送実験などについてご講演いただきます。

（4月22日 11:00~12:00）展示会場内ホール4 特別講演会場

2. 駅と空港の設備に着目した新展示会「駅と空港の設備機器展」。

「ホームドア」「自動改札」「爆発物検知」など、最先端のエレクトロニクス技術を活かした駅・空港回りの設備を紹介！

■「第1回駅と空港の設備機器展」とは……

国内旅客や訪日外国人の、駅や空港ターミナルの利便性とサービス向上のための設備・システムの普及促進のため今回新たに開催。駅と空港に焦点をあて、駅構内や空港ターミナル内で利用される最新の設備・システムを紹介します。また、旅客・観光需要を担う「バス」にも注目し、車両技術と運行に関する設備・システムも集中展示します。

初開催となる今年は、49社/67ブース（うち集中展示 バス車両と運行システム展：7社/7ブース）で開催します。

■主な出展製品・サービス

駅の設備（電車社内ではなくホームや駅の構内の設備）たとえば、「自動改札」「ホームドア」など。空港の設備（空港ターミナル内の設備）例えば、「フライトインフォメーション」「逆行者検知」「爆発物検知」などがあります。また、駅および空港の両方に向けた設備、例えば、「デジタルサイン」「多言語音声案内システム」「清掃ロボット」「無線通信システム」などの技術やサービスの展示があります。

駅と空港内で使われるあらゆる設備・機器・サービスがご覧いただけます。

バス関連では、「安全運転支援システム」「バス運行管理システム」「行先表示器」「バス停関係機器」「乗務員支援システム」などが紹介されます。

※出展企業一覧は公式サイト「<http://www.jma.or.jp/TF/sat/>」の出展者・製品検索ナビで公開中

■特別講演会（駅・空港・バスに関するセッション）プログラム

日時：2016年4月21日（木）11:00～16:30 会場：展示ホール4内特別講演会会場 定員：200人
参加料：一般席 2,000円～ ※申込みはホームページ <http://www.jma.or.jp/tf/sat> で受付中

11:00～12:00	渋谷の過去・現在・未来 ～東急電鉄のまちづくり～ 東京急行電鉄 都市創造本部 開発事業部 事業計画部 山口 堪太郎氏
12:30～13:30	新宿駅南口地区基盤整備事業について 国土交通省 関東地方整備局 東京国道事務所長 西川 昌宏氏
14:00～15:00	成田国際空港のCSとITの推進 成田国際空港 営業部門 CS推進部 営業企画推進室 萩原 通晴氏

3. TECHNO-FRONTIERでは「次世代モビリティ」を集中展示

■今年の TECHNO-FRONTIER は……

国内外の業界を代表する各種部品、ソフトウェア、材料メーカなど、併設展も合すると総勢 500 社超が出展。ワイヤレス給電の応用やロボティクスに活用可能なメカトロニクス関連の新しい技術が一堂に揃います。今回は、センサ技術やエネルギーハーベスティングなど、将来性のある技術展示が増えています。

■集中展示「次世代モビリティ展」に注目！

環境対応、高齢者・移動制約者のサポートなど、小型電動車両への社会的ニーズが高まっている中、今回新たに「次世代モビリティ」に関する集中展示を行います。

<集中展示「次世代モビリティ展」のみどころ>

小型モビリティ、パーソナルモビリティに代表されるモビリティの展示と活用シーンを想定したデモンストレーションを会場内（展示ホール 4）で行います。

（企画協力：東京大学 次世代モビリティ研究室、A.M.Y.クリエイティブ、ジード）

<デモンストレーションスケジュール 予定>

時間	4月20日（水）	4月21日（木）	4月22日（金）
11:30～12:00	ジード ※体験可	ジード ※体験可	ジード ※体験可
13:00～13:30	東京大学次世代 モビリティ研究センター	東京大学次世代 モビリティ研究センター	東京大学次世代 モビリティ研究センター
14:00～14:30	A.M.Y.クリエイティブ	A.M.Y.クリエイティブ	A.M.Y.クリエイティブ
15:00～15:30	ジード ※体験可	ジード ※体験可	ジード ※体験可
16:00～16:30	東京大学次世代 モビリティ研究センター	東京大学次世代 モビリティ研究センター	東京大学次世代 モビリティ研究センター

デモ機の一例



会期中のご取材について

テレビ・ラジオ媒体の方は、事前に下記事務局までご連絡ください。

新聞・雑誌・webメディアの方は、当日プレスルームにてプレス登録をお願いします。

<プレスルームのご案内>

幕張メッセ 5ホール前 2階部分共用通路沿いにプレスルームを設置しております。

開設時間：4/20（水）～22（金） 各日 9:30～17:00

プレスルームでプレス登録をお済ませのうえ、会場取材をお願いいたします。

※登録の際にお名刺2枚ご準備ください。

【本件に関するお問い合わせ】 TECHNO-FRONTIER 他各展示会事務局（担当：和田、山本、中野）

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター内

〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22 TEL：03-3434-0587 / FAX：03-3434-8076

E-mail：tf@convention.jma.or.jp / ホームページ：http://www.jma.or.jp/tf/

※取材のお問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：斎藤）へお願いいたします